

一般社団法人日本鑄鍛鋼会

Steel Castings and Forgings Association of Japan

情報瓦版

Jun. 2026

【通巻第43号】



編集発行：一般社団法人日本鑄鍛鋼会

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-14-4 四国ビル別館8階
TEL 03(5283)1611 (代表) FAX 03(5283)1613

Email cf@jscfa.or.jp URL http://jscfa.or.jp

本情報瓦版は、当会HPよりダウンロードできます。

－ 鑄鍛鋼業界の立つ位置と2026年度の活動方針 －

鑄鋼・鍛鋼共に生産量の減少傾向が続いている中、需要の不安定さが依然として業界全体の課題となっています。また、原材料費・エネルギーコスト・人件費の高止まりが継続しており、適正価格転嫁の重要性が一層高まっています。一方で、老朽設備の更新遅れや人材確保・技能伝承の停滞が構造的課題として顕在化し、防衛・GX・エネルギー安全保障分野を中心に、中長期的な需要機会は引き続き拡大が見込まれています。

鑄鍛鋼業界は、「マテリアル分野」を中核としつつ、造船・防衛・エネルギー・GX・航空宇宙などの戦略17分野を横断的に支える基盤インフラ産業としての位置付けにあります。特に防衛・エネルギー・GX関連分野では高強度・極厚・高耐熱・高信頼性材料への需要が拡大しており、国内鑄鍛鋼メーカーの役割が増大しています。反して、生産量減少リスクや海外競争の激化を背景に、高付加価値化・DX・品質保証力強化への対応が、待ったなしの状況です。各分野を横断的に支える基盤インフラ産業として、国家戦略・経済安全保障の観点からも不可欠な役割を果たしています。

今後の鑄鍛鋼業界にとっての主要な需要フロンティアは①造船・海洋・港湾ロジスティクス、②防衛産業、③資源・エネルギー安全保障・GX・核融合・航空宇宙分野が挙げられます。これらの分野では脱炭素化や安全保障強化を背景に、高強度・極厚・高耐熱・高信頼性といった高機能鑄鍛鋼品への需要拡大が見込まれており、試作段階から参画することで将来の量産案件確保につながる成長機会が期待されています。

しかしながら、当業界は設備・技術、人材、取引環境、海外競争といった業界構造に根差す複合的な課題を引き続き抱えており、老朽設備の更新遅れや技術開発資金不足により競争力が低下する一方で、付加価値が価格に反映されにくい取引慣行や中小企業の発言力の弱さが課題となっています。また、人材確保と技能伝承の停滞、国際競争



の激化や技術流出リスク、生産量減少による需給変動リスク、安全・環境・カーボンニュートラル対応などへの継続的な対応が不可避です。これらに対し、設備投資・人材育成、適正取引、技術保護、コスト改革、安全・環境投資、政策提言を進めると共に、さらなる行政との連携強化を行います。

このような環境の下、当会の2026年度の活動方針では鑄鍛鋼業界が持続可能な発展を実現するために、3つの重点テーマに取り組みます。

①原材料費・エネルギー費・人件費の上昇を踏まえた適正な価格転嫁を進め、品質・信頼性・安定供給を強みに持続可能な取引関係の推進。

②DXの推進。品質予測、設備稼働の最適化、工程管理のデジタル化などを通じて生産性向上と技術の見える化を進めます。業界団体としてセミナーや工場見学会、事例紹介などで会員企業を支援する方針です。

③安全文化の強化。安全をコストではなく価値と捉え、教育や危険予知活動、安全投資を通して業界全体の安全性向上を図ります。

また、働くことの意義を再確認し、誇りを持って働ける環境づくりを進めることも重視しています。さらに、鑄鍛鋼業界を多くの戦略分野を支える「共通インフラ」と位置付け、エネルギー価格や電力安定供給、人材育成支援などへの政策提言や行政との連携強化を行う方針です。加えて、業界課題の対外発信力向上に努めてまいります。

〔(一社)日本鑄鍛鋼会 副会長・専務理事 太田 大介〕